

LED 照明電源線/アース線の接続に関する注意とお願い

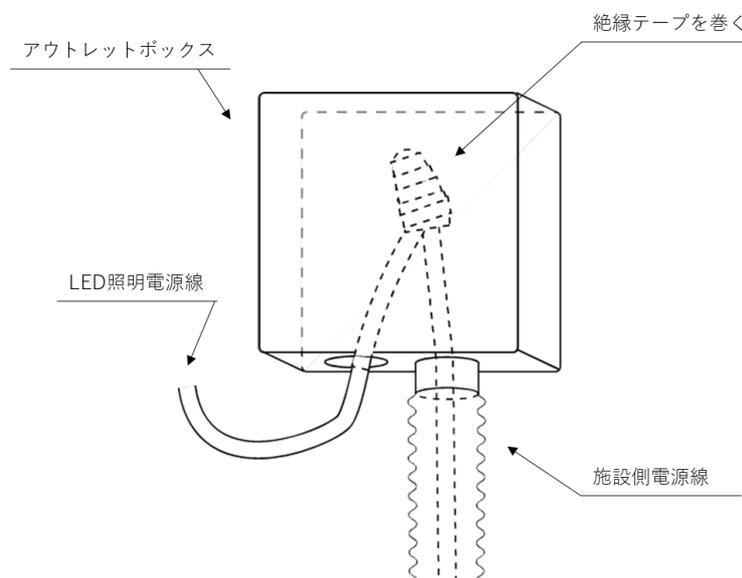
LED 照明は電源の ON/OFF 時において、製品の内部の空気膨張、収縮が発生いたします。ケーブル先端部の処理が不十分な場合は、そこが通気口となり、降雨時や水の接触時に水の吸い込みが発生し、製品内部に浸水することがあります。LED 照明内部に浸水すると、機器故障へとつながります。

浸水を防ぐために、**電源線/アース線の絶縁処理及び防水処理**は確実に行ってください。

【アウトレットボックスを使用する場合（推奨処理）】（自己融着テープを使用しないため、施工しやすい）

* 結線部からの浸水を防止するため、**接続をアウトレットボックス内**で行ってください。

* アウトレットボックス内で接続する場合、照明からの電源線及び施設側からの電源線/アース線を**下から通し**、雨などの浸入が起こらないように処置してください。



(使用アウトレットボックス例：未来工業(株)製 PVK ボックス(防水タイプ) PVK-ANP)

【直接接続する場合】

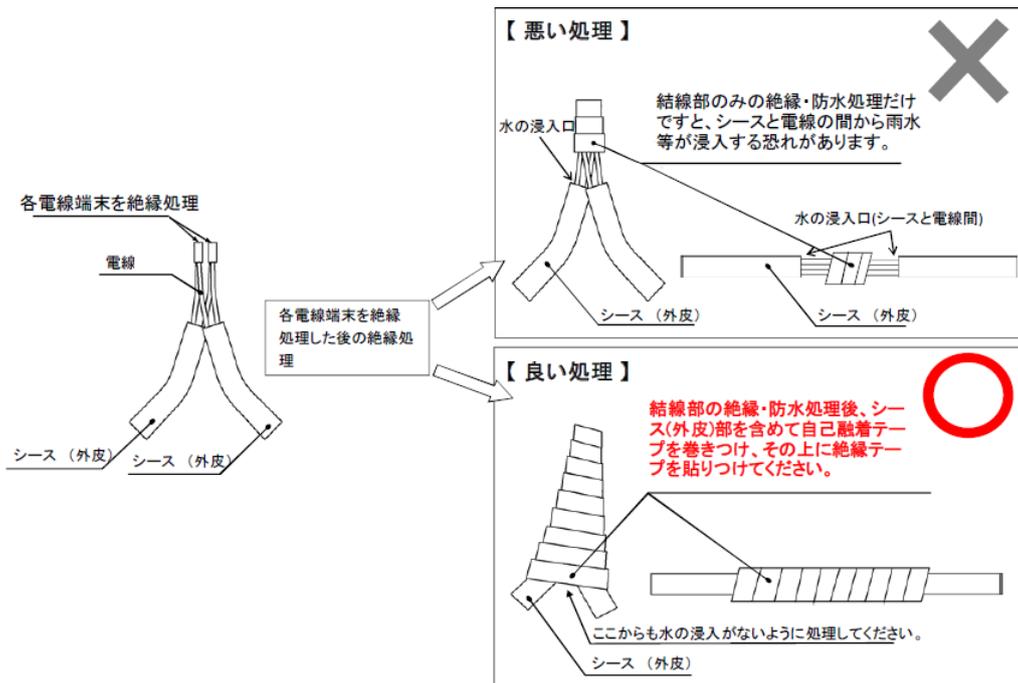
* **芯線 - 内皮間、内皮 - 外皮間の2カ所**を絶縁処理及び防水処理を行ってください。

絶縁処理及び防水処理は、自己融着テープで処理をし、絶縁テープの巻き付けを行ってください。

不十分な場合、芯線 - 内皮間、内皮 - 外皮間の2カ所からの浸水により機器故障の原因となります。

* LED 照明機器本体から出ている電源線は切断せずにそのままお使いください。

電源線が長いほど浸水の影響は受けにくくなります。



〈処理の悪い例〉

* 直接接続をする場合、以下の様になっていると浸水による機器故障が発生します。

1. アース線が結線されていない。

アース線が結線されておらず、自己融着テープが巻かれていないと、アース線の芯線 - 内皮間から水を吸い込みます。



2. 内皮と外皮間に自己融着テープが巻かれていない。

内皮 - 外皮間から水を吸い込みます。



3. 自己融着テープのみで処理が行われ、絶縁テープが巻かれていない。
自己融着テープは耐候性に欠けるため、経年劣化します。



× 自己融着テープのみで、絶縁テープでの処理がされていない。